

The Ushiku Times



NO. 7 April. 21. 2016

茨城県立牛久高等学校 校長室から

三上 唯さん (現3年生) , ハイスクール文芸 2015 年度 最優秀賞を受賞

茨城新聞主催による・『茨城文芸』のハイスクール文芸 (2015 年 4 月～2016 年 2 月) において、牛久高校の三上 唯さん (現 3 年生) が最優秀賞に選ばれ、4 月 17 日 (日)、茨城新聞に掲載されました。

昨年、本校 2 年生は修学旅行で沖縄を訪れ、平和学習と民泊を体験しました。

本校では、『修学旅行紀行文集』(写真右) として 2 年生全員が沖縄修学旅行での思い出を綴り、短歌を詠みました。三上さんは、3 首の短歌に託しました。時間の経過とともに、三上さんのこころの動きが詠み取れる 3 首です。どうぞ、味わってみてください。

【 春こえて すべてが燃える 夏が来て 今も昔も爪痕残す 】

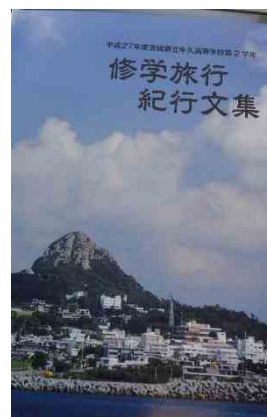
【 壕 (がま) に入り 明かりを消して耳すます 静かに響く 命の水音 】

【 沖縄は 苦しみの中 上を向き 陽気に笑う「なんくるないさ」 】 (最優秀賞)

※ 「なんくるないさ」(沖縄方言) は、「なんとかなるさ」の意味



指導にあたった 三上さん
国語科・高橋 先生



三上さんの詠んだ最優秀作品を見て、ふと次の詩の一節が浮かんできました。

【 青春 】 サムエル・ウルマン 作

青春とは人生のある期間ではなく、
心の持ちかたを言う。

(中略)

たくましい意志、豊かな想像力、炎える情熱をさす。
青春とは人生の深い泉の清新さをいう。

Youth is not a time of life;
it is a state of mind;

it is a matter of the will, a quality of the
imagination, a vigor of emotions; it is the
freshness of the deep springs of life.